

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	休日保育事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名 合志義浩
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援	所属班	子ども保育班	(内線) 2155
				法令根拠	熊本県特別保育事業費等補助金交付要領 合志市休日保育事業実施要綱	

予算科目	会計 1	款 3	項 2	目 3	事業連番 10572	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12	コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
休日に保育所を開所し、勤務等により児童が保育に欠ける場合に対応するため休日保育を実施した保育所を支援する。

【業務の流れ】
①補助金交付申請書(添付:事業計画書・事業収支予算書)の受付、審査②交付決定伺い③交付決定通知書④実績報告書(添付:事業報告書・収支精算書)⑤補助金交付請求書⑥補助金支払(支出負担行為、支出命令書等)

【主な予算費目】
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) H20年度と同様
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 休日保育を実施しているかすみ保育園に対して助成を行った。		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 休日保育実施保育所 園
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 休日保育実施保育所 園 イ 休日保育を希望する児童 人
	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 休日保育実施児童 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 子育てのために仕事に出られない、希望する仕事に思うようにつけない、家事が思うようにできないと答えた世帯の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円								総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)
	都道府県支出金	千円	534	173	826	120	400	400	0	
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	266	87	414	60	200	200		
(A) 事業費計		千円	800	260	1,240	180	600	600		0
	うち指定経費	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	60	60	60	27	30	30	30	
(B) 人件費計		千円	238	239	239	107	119	119	119	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,038	499	1,479	287	719	719	119	

活動指標	ア 園	1	1	1	1	1	1	1	総 計 値 画 22 年度
対象指標	ア 園	1	1	1	1	1	1	1	
	イ 人	49	61	60	11	30	60	60	
成果指標	ア 人	49	61	60	11	30	60	60	
上位成果指標	ア %	15.6	11.5	13.2		13.2	13		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
旧合志町で、平成12年度に休日に保育を必要とする世帯の増加に伴い、子育てと仕事の両立支援及び福祉の向上を図るために開始された。2年ごとに実施園を交代し、今までの実施園は栄保育園→すずかけ台保育園→竹迫みのり保育園→南部保育園→かすみ保育園となっている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成12年度利用児童延べ39人、平成13年度延べ4人、平成14年度延べ17人、平成15年度35人、平成16年度延べ60人、平成17年度延べ49人で、その年度でばらつきはあるが、平均すると毎年延べ40人程度の利用がされている。平成20年度になり、旧合志町の既存地区である、かすみ保育園が実施園となったが、遠いという理由で申し込みが激減した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成19年度は、旧合志町内の保育園での実施であるため、旧合志町内の住民からは遠いという理由から西合志町内でも実施を望む声もある。平成20年度からは旧西合志町内での実施となるが、各旧両町内での実施が望まれるが、利用者数と費用対効果を考慮しながら検討していく。休日保育を望む対象者は住宅地に多く、住宅地で実施してほしいとの声が上がっている。

事務事業名	休日保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市の目標とする「子育て支援日本一のまちづくり」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 子育て支援に向けて、市が助成を行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 市民を対象者に行っているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年間延べ40人程度の利用があるので、現状どおりでいいと思う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 休日に保育を必要とする世帯があるため、子育て支援の面で後退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 認可外保育所利用という方法もあるが、一日あたり5,000円程度の保育料が必要になる。この事業では、一日あたり2,000円なので、保護者の経済負担の軽減が図れる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在でも1園しか実施してなく、保育士も最低限の人数なので、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成の手続きとしては、交付申請に伴う審査決定及び支払と実績報告に伴う確定事務という最低限の事務のため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民を対象者に行っているため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>⇒</p> <p>①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 特になし	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																		

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)